

保健管理概要

第 39 号 2023 年



Akita University

秋田大学保健管理センター

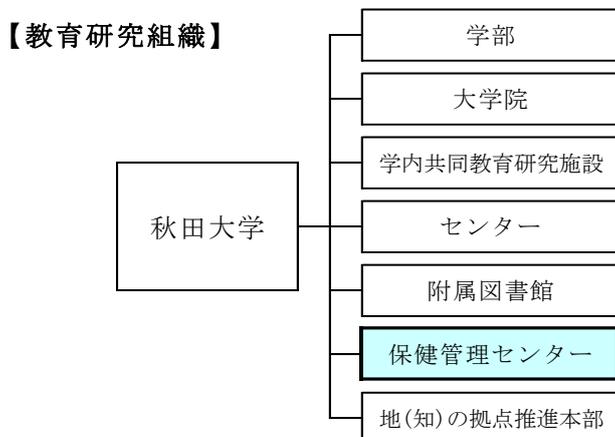
目 次

I	令和5年度 保健管理体制	
1.	組織図	1
2.	沿 革	1
3.	職 員	2
4.	学校医	2
5.	学外カウンセラー	2
6.	歴代職員	2
II	令和5年度 年間業務内容	3
III	令和5年度 保健管理業務概要	
1.	学生保健管理実施状況	
(1)	学生定期健康診断検査項目	6
(2)	学生定期健康診断受診状況	7
(3)	各検査項目別受診状況及び結果	9
(4)	秋季留学生胸部X線検診受診状況	10
(5)	生活問診票結果	11
(6)	学部新入生における麻疹ワクチン接種状況	18
2.	職員保健管理実施状況	
(1)	職員健康診断対象者及び検査項目	19
(2)	職員一般定期健康診断受診状況	20
(3)	特殊健康診断	21
3.	保健管理センター利用状況	
(1)	学部別・月別利用者数	22
(2)	疾病別利用者数	23
(3)	健康相談件数	24
(4)	学生相談 相談者内訳	24
(5)	学生相談 来談方法	24
(6)	学生相談 相談内容内訳	25
(7)	健康診断証明書 発行内訳	25
(8)	紹介状発行内訳	26

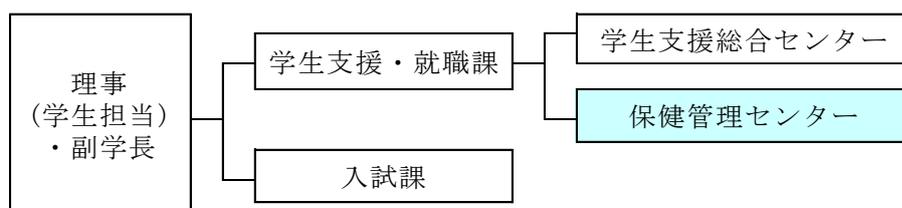
IV	安全衛生活動報告	
1.	キャンパス内定期巡視及び安全衛生委員会への出席……	27
2.	職員定期健康診断事後措置（保健指導） ……………	27
3.	長時間労働者面接 ……………	27
4.	高ストレス者面接 ……………	27
5.	病休者の復帰前面談 ……………	27
V	教育・研究活動報告	
1.	学生講義	
(1)	教養教育科目 ……………	28
(2)	医学部講義 ……………	29
(3)	他大学講義 ……………	29
2.	禁煙支援システム（禁煙外来） ……………	29
3.	講演会等実施状況 ……………	30
4.	研究報告 ……………	32
VI	新型コロナウイルス感染防止対策について ……………	33
	〔資料1〕 体調不良時の対応について ……………	34

I 令和5年度 保健管理体制

1. 組織図



【事務組織】



2. 沿革

昭和 49 年 4 月 1 日	保健管理センター設置準備委員会発足
昭和 49 年 4 月 11 日	国立学校設置法施行規則の一部改正により保健管理センター設置、 学長 渡辺武男が所長事務取扱に発令された
昭和 49 年 5 月 8 日	保健管理センター規程及び保健管理委員会規程が制定された
昭和 49 年 8 月 1 日	初代保健管理センター所長に医学部教授 増田久之(第一内科)が併任 された
昭和 54 年 3 月 30 日	新保健管理センターが竣工した(計算センター(現 情報統括センター) と合築)
平成 元年 1 月 26 日	現在地への移転工事が竣工した
平成 16 年 4 月 1 日	法人化に伴い、秋田大学保健管理センター規程が制定された
平成 23 年 9 月 12 日	保健管理センター増築工事が竣工した

3. 職員 所長(併) 教授 伏見 雅人
 准教授 佐野 正明
 看護師 藤原 友紀子
 看護師 安保 智秋
 看護師 荻原 佐智代 (非常勤)

4. 学校医 産科婦人科 助教 藤嶋 明子
 精神科 講師 竹島 正浩
 精神科 教授 太田 英伸 ※作業療法学講座所属
 皮膚科 助教 山川 岳洋
 眼科 医員 西山 俊吾
 耳鼻咽喉科 医員 松本 佳那

5. 学外カウンセラー 後藤 優子 (非常勤) 中野 薫 (非常勤)
 (学生相談所専門相談員) 横尾 裕紀子 (非常勤) 進藤 晴美 (非常勤)

6. 歴代職員

①所長(併)

氏名	所属	在任期間	備考
渡邊 武男	学長	昭49. 4. 11～昭49. 7. 31	事務取扱
増田 久之	医学部	昭49. 8. 1～昭52. 3. 15	
金澤 知博	医学部	昭52. 3. 16～昭56. 3. 15	
井上 修一	保健管理センター	昭56. 3. 16～平10. 3. 31	
苗村 育郎	保健管理センター	平10. 4. 1～平28. 3. 31	
伏見 雅人	保健管理センター	平28. 4. 1～	

②保健管理医

氏名	診療科	職名	在任期間	備考
荒川 弘道	内科	講師	昭49. 8. 1～昭53. 9. 30	
井上 修一	内科	教授	昭53. 10. 1～平10. 3. 31	
久場 政博	精神科	講師	昭53. 10. 1～昭57. 3. 31	
稲村 茂	精神科	助手	昭57. 4. 1～昭59. 3. 31	
大川 匡子	精神科	助手 講師	昭59. 4. 1～昭60. 4. 30 昭60. 5. 1～平 2. 12. 31	
苗村 育郎	精神科	助手 講師 助教授 教授	平 3. 1. 1～平 3. 2. 15 平 3. 2. 16～平 4. 3. 31 平 4. 4. 1～平10. 3. 31 平10. 4. 1～平28. 3. 31	
小林 政雄	内科	准教授	平10. 4. 1～平31. 3. 31	
伏見 雅人	精神科	教授	平28. 4. 1～	
佐野 正明	内科	准教授	平31. 4. 1～	

II 令和5年度 年間業務内容

月	業 務	内 容
4月	入学式(あきた芸術劇場ミルハス) 教養教育科目 「大学生と健康A」授業開始 学生定期健康診断(卒業年次) 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視	看護業務担当(医務室) Web授業〔オンデマンド型〕 青年が直面している心とからだの健康状況を認識し、 将来の生活の支えとなることを目的として行う 胸部X線撮影、 内科診察、血圧測定、尿検査 身体測定(身長、体重)、視力検査 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
5月	X線室漏洩線量測定 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視 学生定期健康診断(2～3年生)	外部機関に依頼(千代田テクノル) 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接 胸部X線撮影 内科問診、血圧測定、尿検査、身体測定(身長、体重)
6月	学生定期健康診断(新入生・新編入生) 職員一般定期健康診断(手形キャンパス) (秋田県総合保健事業団へ委託) 放射線業務従事者特別健康診断(1回目) 有機溶剤、特定化学物質 取扱者健康診断(1回目) 粉じん作業従事者健康診断 全国大学保健管理協会総会 国立大学保健管理施設協議会総会 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視	胸部X線撮影、問診票 内科診察、血圧測定、尿検査 身体測定(身長、体重)、視力検査、聴力検査 胸部X線撮影 内科診察、血圧測定、視力検査、聴力検査 身体測定(身長、体重)、腹囲測定 尿検査(早朝尿) 肝機能、脂質、血糖、貧血検査、HbA1c、クレアチニン、 尿酸、ペプシノゲン) 大腸検査(便潜血) 心電図検査 問診票、末梢血検査、眼科、皮膚科 診察、肝機能検査、検尿等 問診票、胸部X線検査(直接撮影) Web開催 Web開催 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
7月	第60回全国大学保健管理研究集会東北地方 研究集会(当番校:東北大学) 国立大学保健管理施設協議会 東北地方部会会議 秋田大学オープンキャンパス 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視	Web開催 Web会議 医務室 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接

月	業 務	内 容
8月	職員健康診断事後措置 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視	個別保健指導、医療機関へ紹介等 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
9月	職員健康診断事後措置 職員胃部検診(手形キャンパス) 長時間労働者面接指導 総合型選抜 I 試験(国際資源学部・理工学部) 衛生管理者学内巡視	個別保健指導、医療機関へ紹介等 保健事業団 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接 医務室
10月	「大学生と健康B」授業開始 秋季入学外国人留学生胸部X線検診 第61回全国大学保健管理研究集会 (当番校:金沢大学) 秋田大学大学祭(2日間) 毒物及び劇物危険物点検 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視	前期に同じ 胸部X線撮影 石川県立音楽堂 医務室 チェック票に基づいて施設内を点検、報告 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
11月	学校推薦型選抜 I・総合型選抜 I 試験 (教育文化学部) 秋田大学総合防災訓練 秋田大学駅伝大会 東北地方部会 保健・看護分科会幹事会 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視 X線室漏洩線量測定	医務室 救護室 千秋公園 (雨天のため中止) 東北大学保健管理センター 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接 外部機関に依頼(千代田テクノル)

月	業 務	内 容
12月	放射線業務従事者特別健康診断(2回目) 有機溶剤、特定化学物質 取扱者健康診断(2回目) 第45回全国大学メンタルヘルス学会総会 (当番校:札幌医科大学) 秋田大学ISO14001更新審査 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視	保健事業団(問診票、末梢血検査、眼科、皮膚科) 保健事業団 (診察、肝機能検査、検尿等) 札幌医科大学記念ホール 手形・保戸野キャンパス 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
1月	大学入学共通テスト 学校推薦型選抜Ⅱ・総合型選抜Ⅱ 大学入学共通テスト追試験 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視	医務室 医務室 医務室 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
2月	一般選抜前期日程試験 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視	医務室 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
3月	一般選抜後期日程試験 第25回全国大学フィジカルヘルスフォーラム (当番校:北海道教育大学) 一般選抜前期・後期日程追試験 卒業式(あきた芸術劇場ミルハス) 長時間労働者面接指導 衛生管理者学内巡視	医務室 医務室 看護業務担当(医務室) 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接

学内 会議	学生支援企画会議	所長出席
	学生特別支援室会議	所長出席
	学生サポートルーム担当者会議	看護師1名出席
委員会	手形キャンパス安全衛生委員会	医師(産業医)2名、看護師(衛生管理者)1名出席
	保戸野キャンパス安全衛生委員会	医師(産業医)2名出席
	秋田大学(手形・保戸野地区)環境管理委員会	看護師1名出席

Ⅲ 令和5年度 保健管理業務概要

1. 学生保健管理実施状況

(1) 学生定期健康診断検査項目

		新入生	新編入生	卒年次生	左記以外の学生	摘要
計測・検査	身長・体重	○	○	○	○	
	胸部X線撮影	○	○	○	※1	デジタル撮影
	検尿	○	○	○	○	尿糖・蛋白・潜血
	血圧	○	○	○	○	自動血圧計
	視力	○	○	○		簡易式視力計
	聴力	○	○	△		オージオメーター
診察	内科	○	○	○	○	既往歴の問診を含む
	耳鼻科	○	○			問診票
	眼科	○	○			問診票
<p>○ 全員対象の項目</p> <p>△ 新入生の健診時に所見のあった学生が対象</p> <p>結核予防法の一部改正に伴い、平成17年度より胸部X線撮影の対象者を次の通りとした</p> <p>A. 新入生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学部学生 1年生(新入生) 2. 研究科 1年生(新入生) 3. 各学部 新編入生 <p>※1 B. 実習のある学生</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 教育実習への参加が予定されている学生 5. 介護等体験への参加が予定されている学生 6. 病院実習への参加が予定されている学生 7. インターンシップへの参加が予定されている学生 8. その他、医療関係施設等に実習予定の学生 9. 前年度上記5～8の実習に参加した学生 10. 海外資源フィールドワークへの参加が予定されている学生 <p>C. 就職活動をする学生</p> <p>D. 経過観察の学生</p> <ol style="list-style-type: none"> 11. 前年度の健診で、要経過観察と判定された学生 						

(2) 学生定期健康診断受診状況

【学 部】

学部		学 年	対象者数	受診者数	未受診者数	受診率
国際資源学部		1 年 次	138	119	19	86.2%
		2 年 次	134	97	37	72.4%
		3 年 次	117	111	6	94.9%
		4 年 次	127	106	21	83.5%
		計	516	433	83	83.9%
教育文化学部		1 年 次	218	212	6	97.2%
		2 年 次	218	204	14	93.6%
		3 年 次	241	208	33	86.3%
		4 年 次	211	197	14	93.4%
		計	888	821	67	92.5%
医学部	医学科	1 年 次	132	124	8	93.9%
		2 年 次	126	92	34	73.0%
		3 年 次	141	99	42	70.2%
		4 年 次	121	103	18	85.1%
		5 年 次	133	101	32	76%
		6 年 次	128	120	8	93.8%
		計	781	639	142	81.8%
	保健学科	1 年 次	109	109	0	100%
		2 年 次	113	108	5	95.6%
		3 年 次	110	104	6	95%
		4 年 次	100	100	0	100.0%
	計	432	421	11	97.5%	
理工学部		1 年 次	440	405	35	92.0%
		2 年 次	420	365	55	86.9%
		3 年 次	443	331	112	74.7%
		4 年 次	404	354	50	87.6%
		計	1,707	1,455	252	85.2%
学部合計			4,324	3,769	555	87.2%

【 大学院 】

研究科	学 年	対象者数	受診者数	未受診者数	受診率
国際資源学研究科 博士前期課程	1 年 次	58	44	14	75.9%
	2 年 次	51	51	0	100.0%
	計	109	95	14	87.2%
国際資源学研究科 博士後期課程	1 年 次	20	9	11	45.0%
	2 年 次	19	11	8	57.9%
	3 年 次	9	9	0	100.0%
	計	48	29	19	60.4%
教育学研究科修士課程	1 年 次	5	4	1	80%
	2 年 次	9	8	1	88.9%
	計	14	12	2	85.7%
教育学研究科 専門職学位課程	1 年 次	23	14	9	60.9%
	2 年 次	5	3	2	60.0%
	計	28	17	11	60.7%
医学系研究科修士課程	1 年 次	3	2	1	66.7%
	2 年 次	2	0	2	0%
	計	5	2	3	40%
医学系研究科博士前期課程	1 年 次	11	3	8	27.3%
	2 年 次	16	2	14	12.5%
	計	27	5	22	18.5%
医学系研究科博士後期課程	1 年 次	4	1	3	25.0%
	2 年 次	4	0	4	0.0%
	3 年 次	5	2	3	40.0%
	計	13	3	10	23.1%
医学系研究科博士課程	1 年 次	30	10	20	33.3%
	2 年 次	32	11	21	34.4%
	3 年 次	35	17	18	48.6%
	4 年 次	87	24	63	27.6%
	計	184	62	122	33.7%
理工学研究科 博士前期課程	1 年 次	172	144	28	83.7%
	2 年 次	209	190	19	90.9%
	計	381	334	47	87.7%
理工学研究科 博士後期課程	1 年 次	7	5	2	71.4%
	2 年 次	13	7	6	53.8%
	3 年 次	22	9	13	40.9%
	計	42	21	21	50.0%
工学資源学研究科 博士後期課程	3 年 次	1	0	1	0.0%
	計	1	0	1	0.0%
先進ヘルス工学院修士課程	1 年 次	10	10	0	100.0%
	2 年 次	10	10	0	100.0%
	計	20	20	0	100.0%
大学院合計		872	600	272	68.8%
非正規生(留学生)		20	20	0	100.0%
全学生総計		5,196	4,369	827	84.1%

*対象者数は令和5年5月1日現在の在籍学生数

(3) 各検査項目別受診状況及び結果

①X線検査結果

	受診者数	要精査数	内 訳					結 果			
			気胸	結節陰影	円形陰影	索状陰影	透亮像様陰影	異常なし	経過観察	要医療	未受診
学部	3,769	16	1	9	3	2	1	12	2	0	2
大学院	597	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0
合計	4,366	17	1	10	3	2	1	12	3	0	2

②血圧測定結果

	受診者数	健診時高血圧者数	再検査					家庭血圧対象者	所 見				結 果	
			受診者数	異常なし	I度高血圧	II度高血圧	III度高血圧		実施せず	異常なし	白衣高血圧	持続性高血圧	経過観察	要精査
学部	3,770	44	21	19	2	2	0	4	1	0	2	1	2	1
大学院	600	12	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4,370	56	27	25	2	2	0	4	1	0	2	1	2	1

③尿検査結果

	受診者数	有所見者数	再検査		結 果			病名・所見				
			対象者数	受診者数	異常なし	経過観察	要精査	異常なし	腎障害	糸球体腎炎の疑い	糖尿病	不明
学部	3,377	181	131	88	76	4	8	4	1	1	1	1
大学院	551	19	12	7	7	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,928	200	143	95	83	4	8	4	1	1	1	1

*令和5年度より、尿糖・尿蛋白・尿潜血の各検査項目(+)以上を再検査の対象とした。

*有所見者200名中、尿糖・尿潜血(±)の経過観察49名と通院中の8名は、再検査の対象外とした。

④内科診察結果

	対象者数	受診者数	病名・所見			
			心雑音	不整脈	甲状腺腫大	貧血症状
学部	2,031	1,846	6	3	2	1
大学院	769	503	0	0	0	0
合計	2,800	2,349	6	3	2	1

*対象者：新入生、卒年次生、新編入生

(4) 秋季留学生胸部X線検診受診状況

令和5年10月11日実施

	対象者数	受診者数	未受診者数	受診率
正規生	10	9	1	90.0%
非正規生	29	25	4	86.2%
合計	39	34	5	87.2%

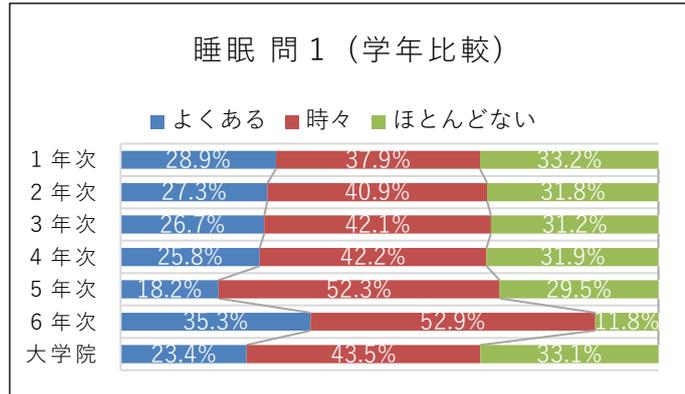
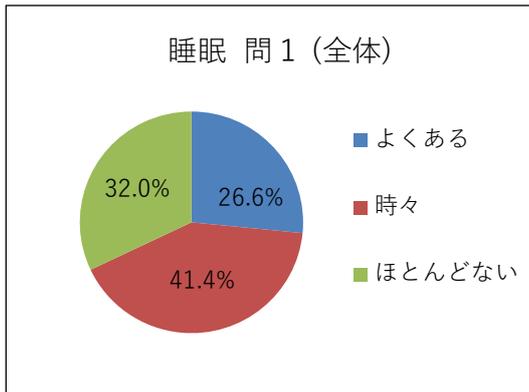
*検診項目：問診票および胸部X線撮影

(5) 生活問診票結果

- ・調査時期：2023年8月～11月
- ・対象者：2023年5月1日に在籍している学生 5,196名（非正規生は除く）
- ・回収状況：1,966名（回収率38% Microsoft Formsにて実施）

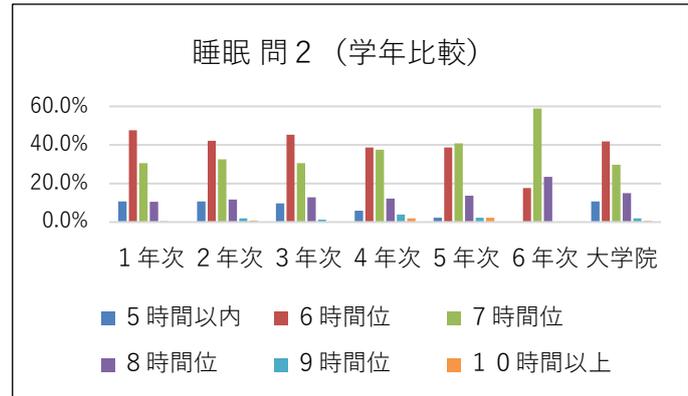
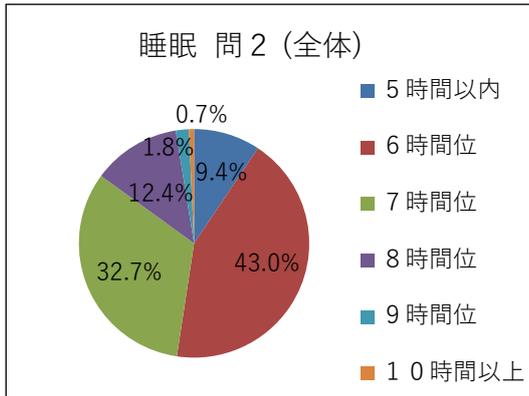
◆睡眠について

問1. 布団に入って眠りにつくのにかかりますか。



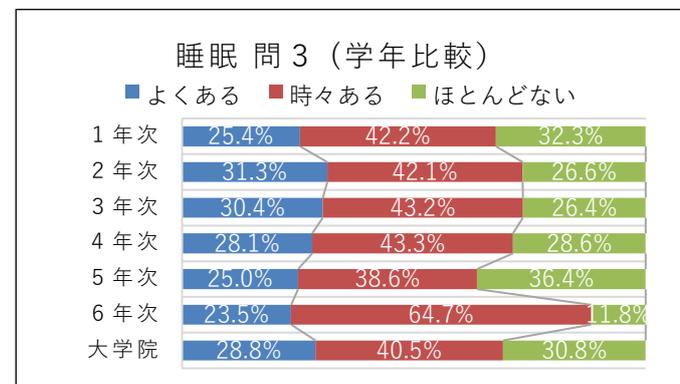
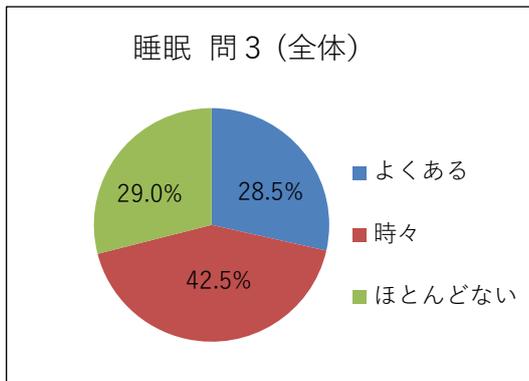
・眠りにつくのにかかると「よくある」「時々ある」と答えた方が68%であった。

問2. 睡眠時間は普段どのくらいですか。



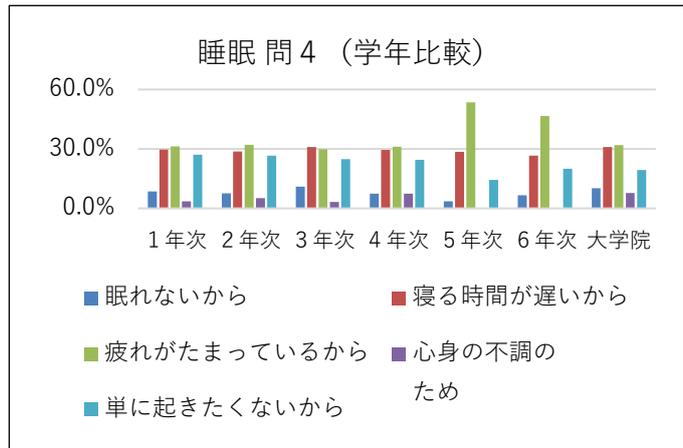
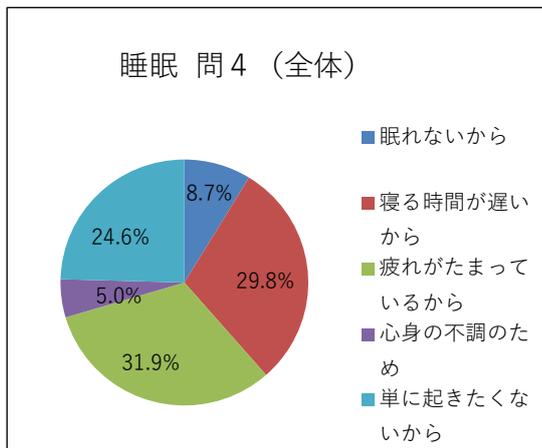
・睡眠時間は6～7時間と答えた方が75.7%であり、いずれの学年においても6時間以上の睡眠を取っている方が大多数であった。

問3. 朝、起きるのがつらいことがありますか。



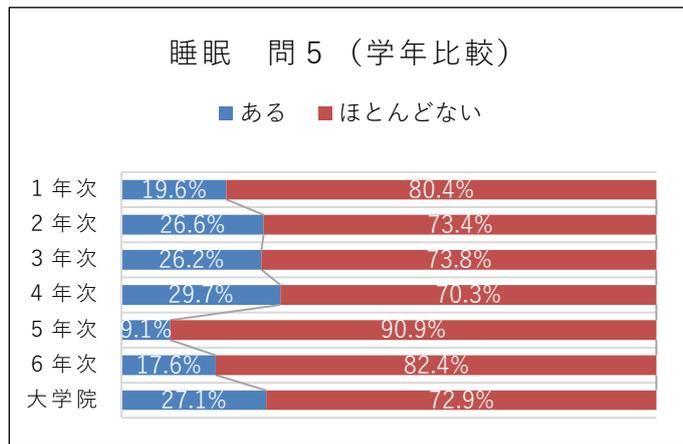
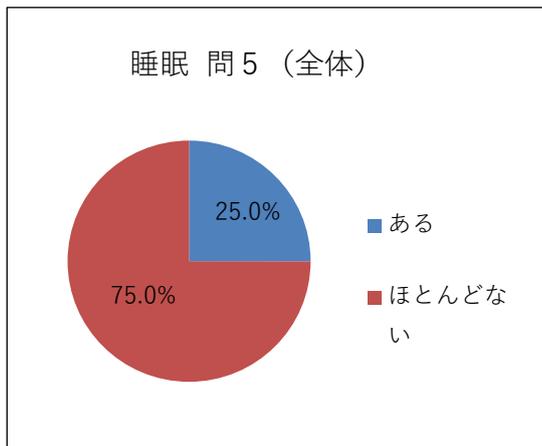
・朝起きるのがつらいことが「よくある」と答えた方が昨年より8.6%減少し28.5%であった。逆に「ほとんどない」と答えた方が11%増加し29%であった。

問4. 問3で「よくある、時々ある」と答えた方へお聞きします。その理由を一つ選んでください。
(n=1396)



・起きるのがつらい理由では、「単に起きたくないから」が昨年よりも6%減少し、「眠れないから」「心身の不調のため」と答えた方が若干増加した。学年比較では5年次と6年次の「疲れがたまっているから」の増加が目立った。

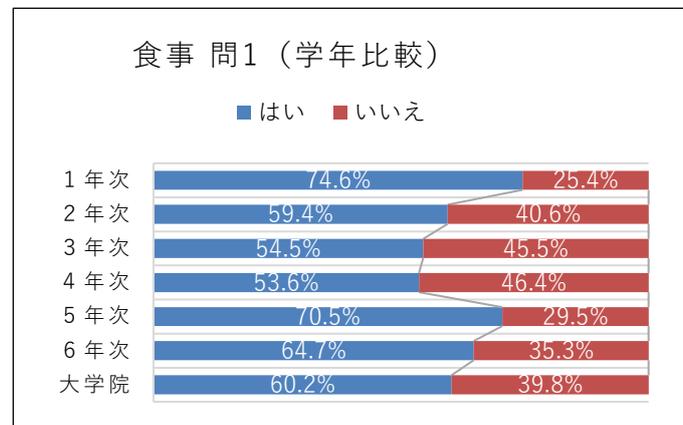
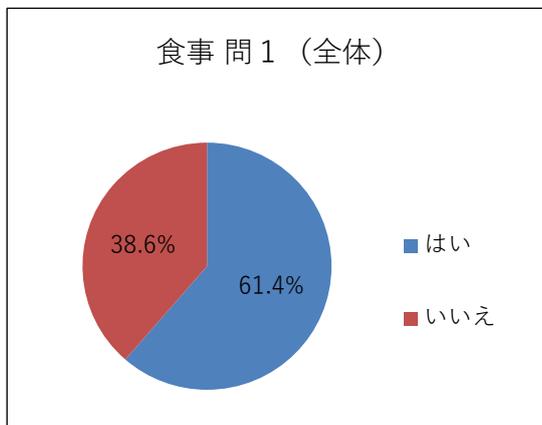
問5. 夜、眠れずに昼夜逆転することはありますか。(勉強やアルバイト、休日はのぞく)



・夜眠れずに昼夜逆転することが「ある」と答えた方の割合は昨年同様であるが、学年比較では4年次生と大学院生割合が5%ずつ増加し、5年次と6年次ではそれぞれ8%、16%の減少が見られた。

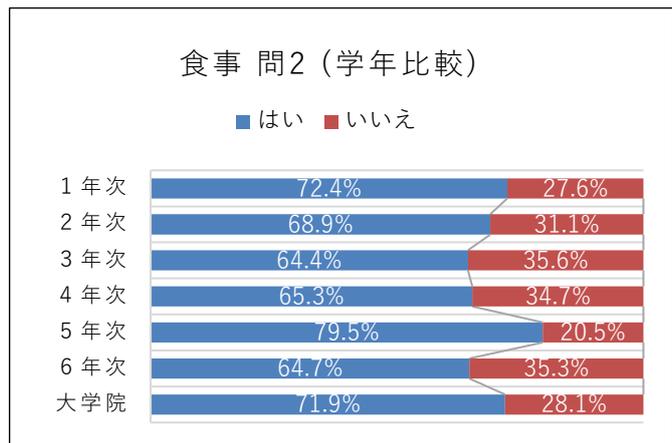
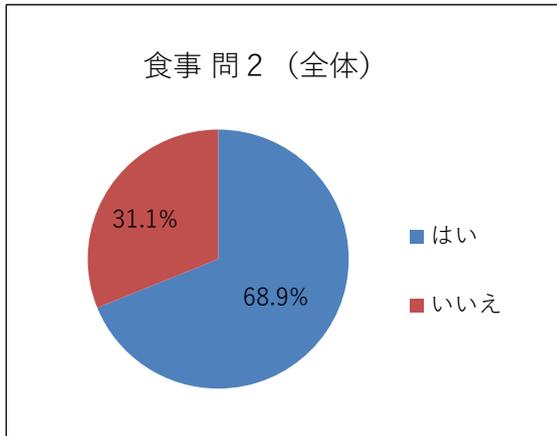
◆食事について

問1. 朝食はきちんと食べていますか。



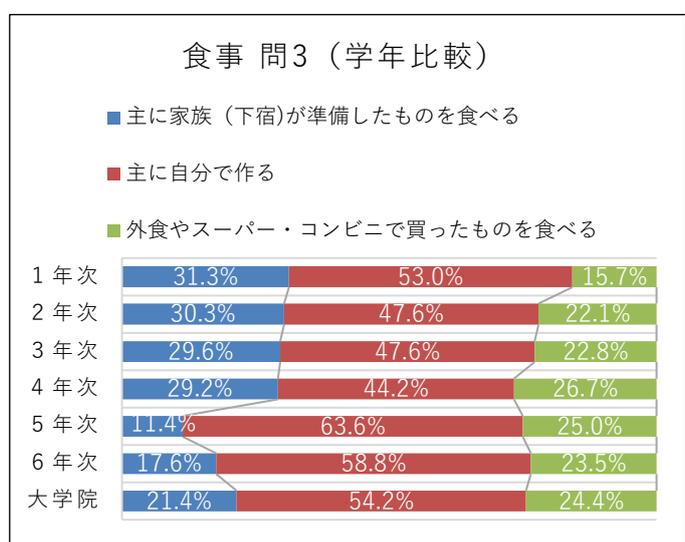
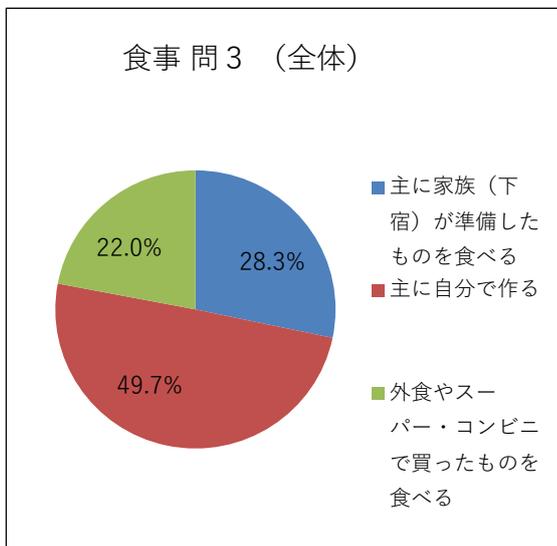
・「朝食をきちんと食べる」と答えた方は昨年より2.8%増加し、60%を超えた。

問2. 食事はバランスを考えていますか。



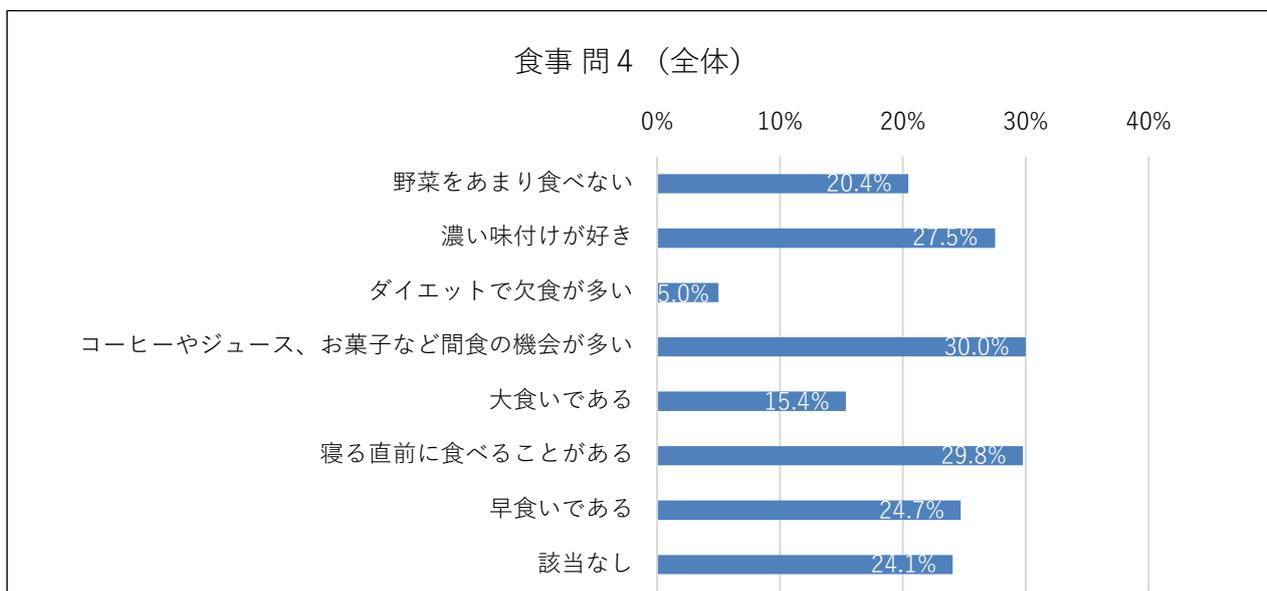
・「食事はバランスを考えて食べる」と答えた方は68.9%であり、昨年よりも若干増加した。

問3. あなたの食事状況について当てはまるものをすべて選んでください。

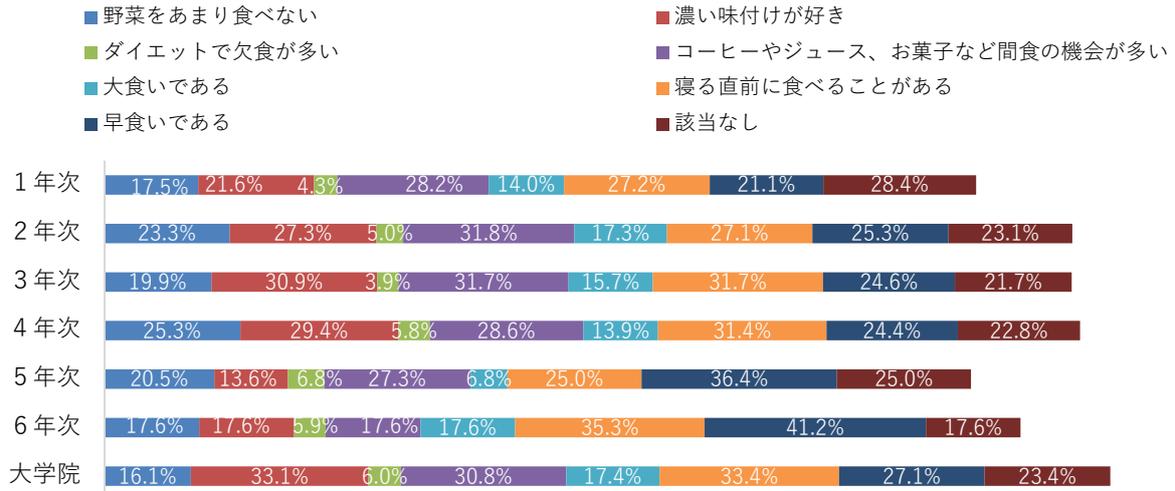


・「主に自分で作る」と答えた方が約半数であった。

問4. あなたの食事状況について当てはまるものをすべて選んでください。



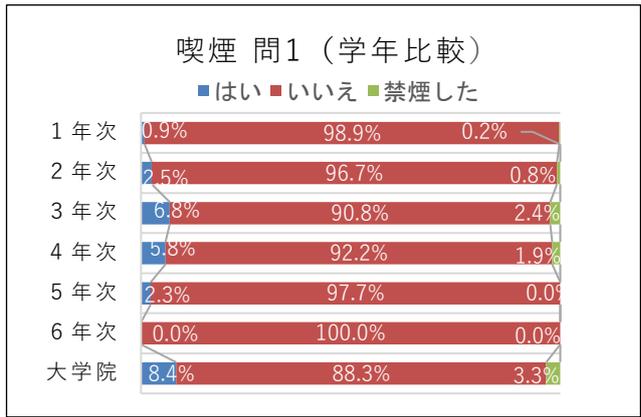
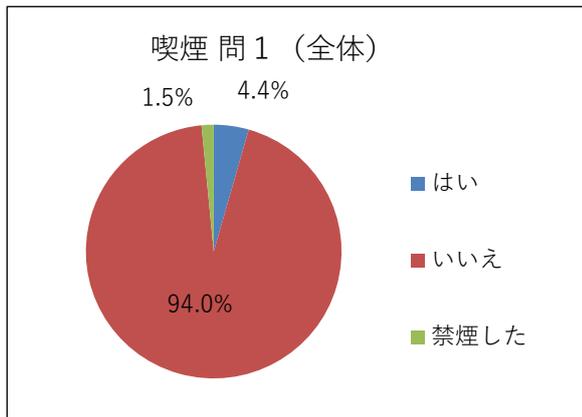
食事 問4 (学年比較)



・いずれの学年でも「ダイエットで欠食をする」と答えた割合は例年と同様に低く、「早食いである」「濃い味付けが好き」「コーヒーやジュース、お菓子など間食の機会が多い」「寝る直前に食べることもある」と答えた方が多くみられた。

◆喫煙について

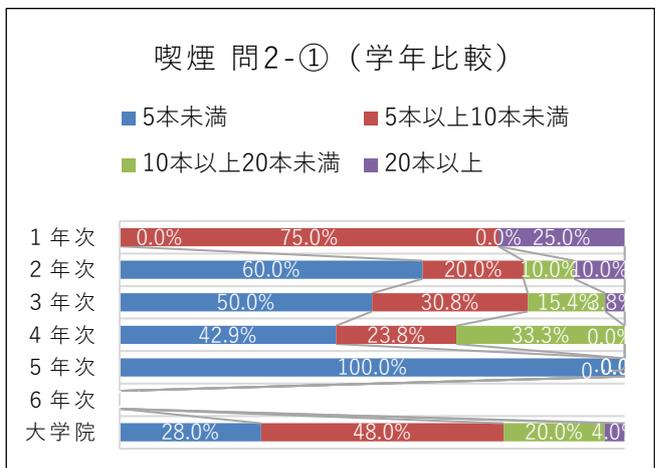
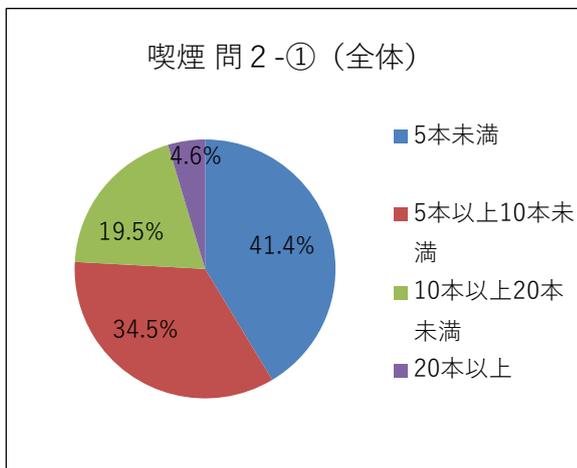
問1. あなたはたばこを吸いますか。



・「たばこを吸う」と答えた方は全体の4.4%(87名)であり、昨年より0.6%増加した。

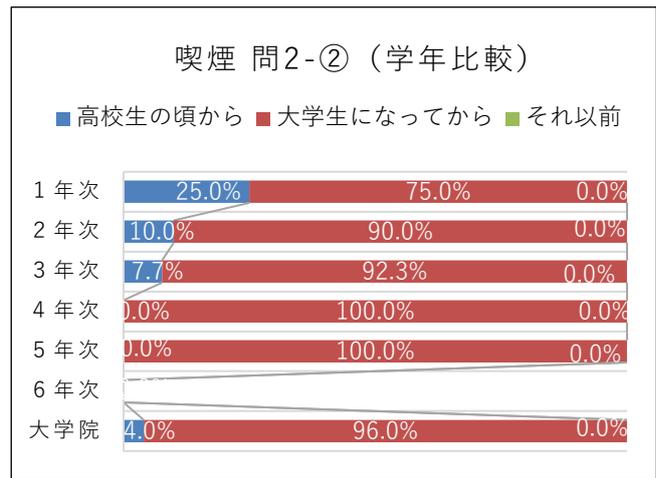
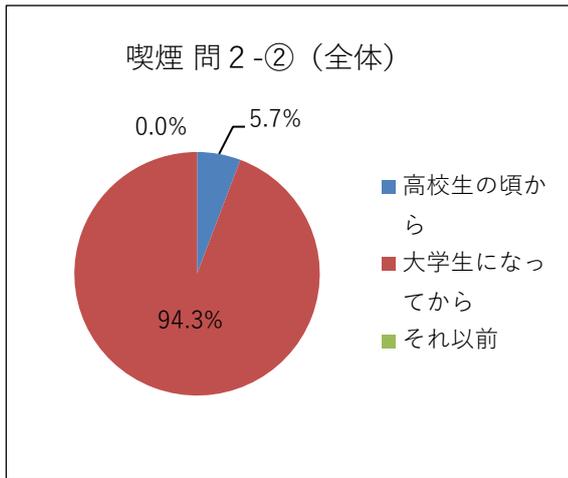
問2. ここからは、上記の質問に「はい」と答えた方にお聞きします。(n=87)

① 一日何本吸いますか。



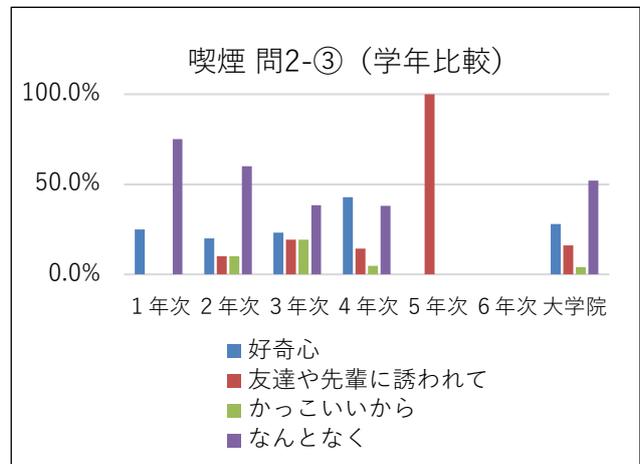
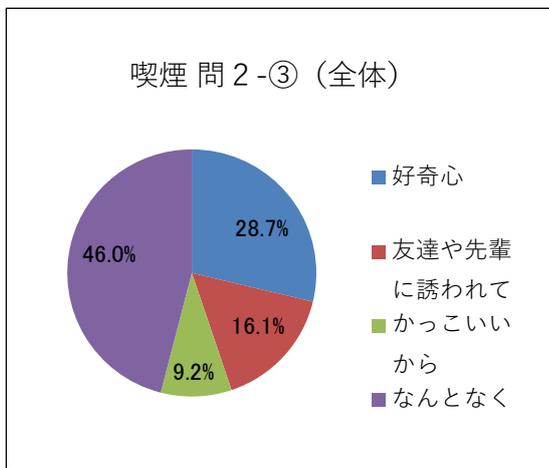
・一日の喫煙本数は、10本以上吸うと答えた方が昨年よりも約2割減少し24.1%であった。

② いつから吸っていますか。



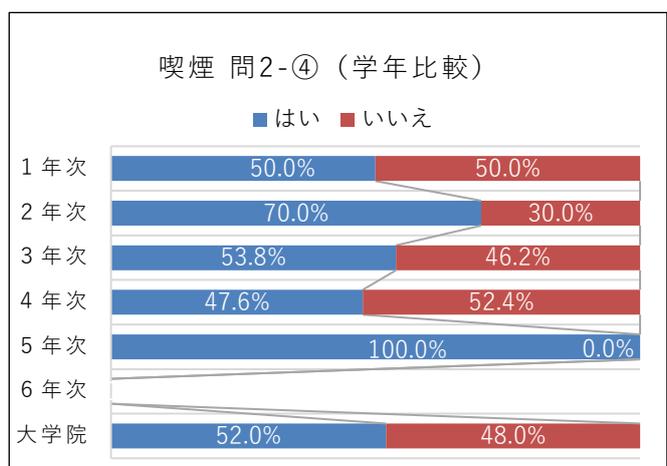
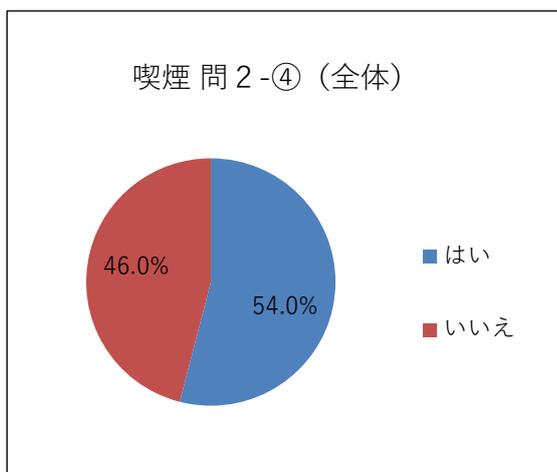
・吸い始めは「大学生になってから」と答えた方が 94.3%を占めたが、1年次の 25%が「高校生の頃から」と答えた。

③ 吸い始めたきっかけは何です



・吸い始めたきっかけとして、昨年は「友達や先輩に誘われて」と「なんとなく」の答えた方が 38.5%で同じ割合であったが、今年は「友達や先輩に誘われて」と答えた方が 16.1%で半数以下に減少した。その反面、自らの意思で吸い始めた「好奇心」や「なんとなく」と答えた方がそれぞれ 8%ずつ増加した。

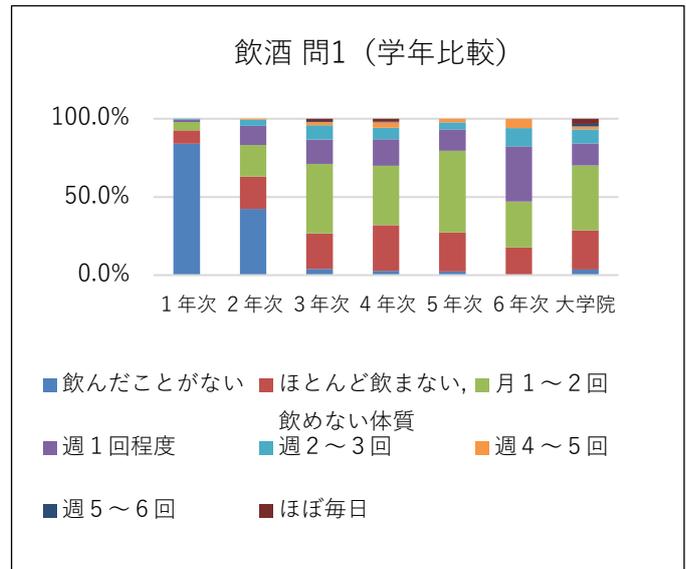
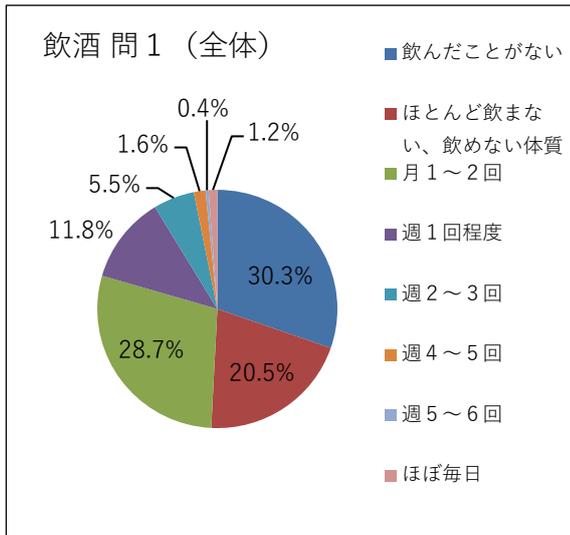
④ 機会があれば禁煙したいですか。



・禁煙したいと答えた方が半数以上であった。

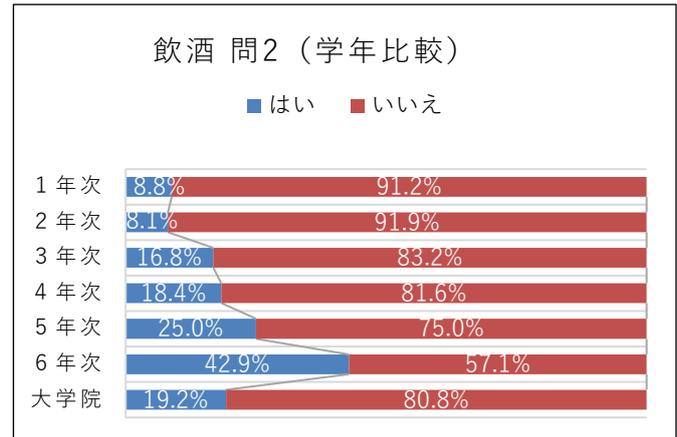
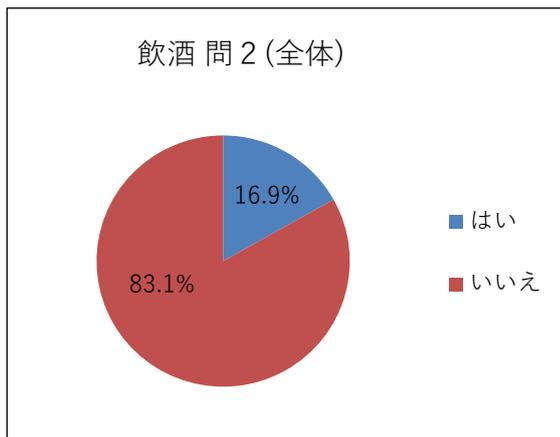
◆飲酒について

問1. あなたはお酒を飲みますか。



・「週1回程度」「週2～3回」と答えた方はそれぞれ1.7%、0.7%減少し、「月1～2回」と答えた方が3%増加し28.7%であった。習慣飲酒よりも機会飲酒が増えたと想定される。

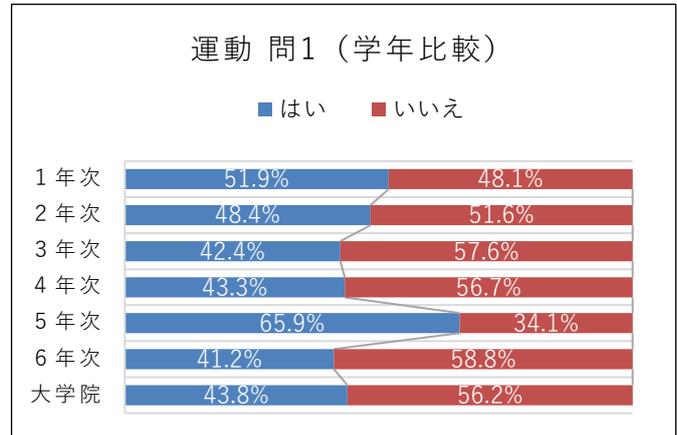
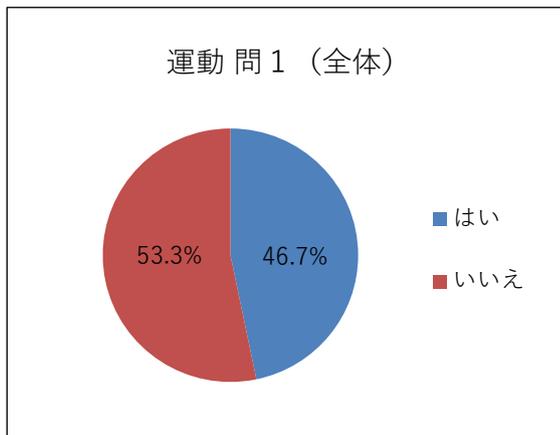
問2. 飲む方は、泥酔するほど飲むことはありますか。(n=967)



・泥酔するほど飲むと答えた方は、昨年よりも4%減少し16.9%であった。

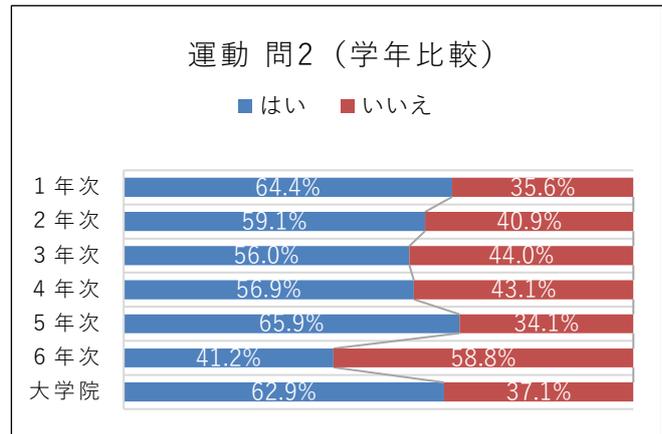
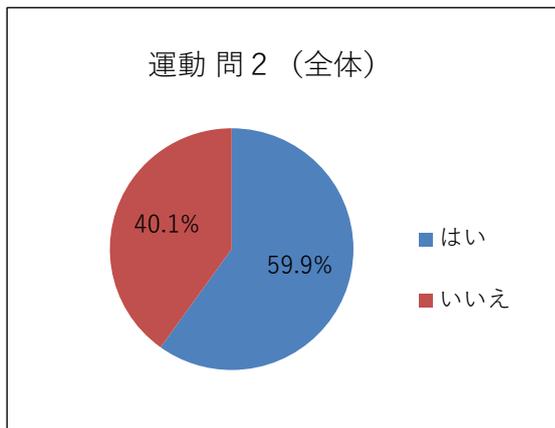
◆運動について

問1. 一回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上していますか。



・週2日以上軽い運動をしていると答えた方は、昨年よりも4%増加し46.7%であった。

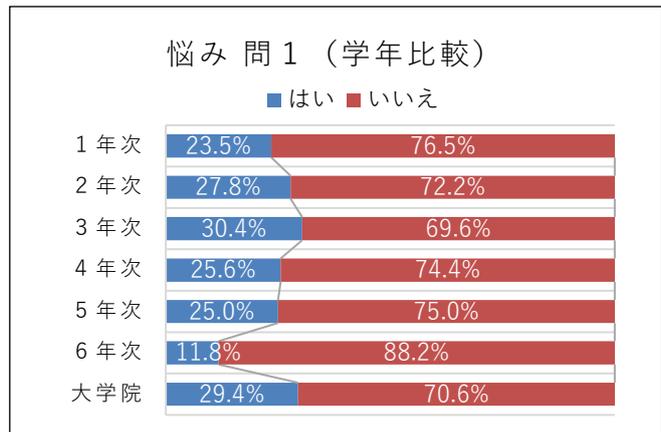
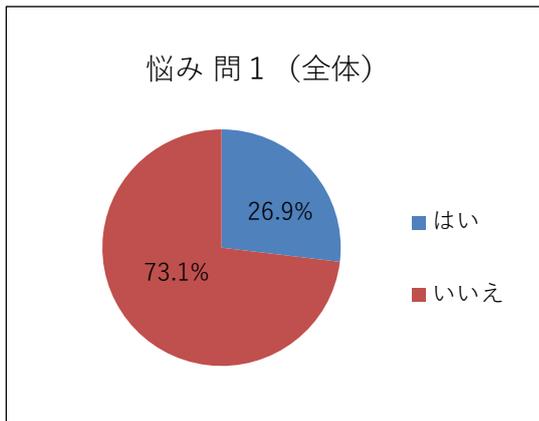
問2. 日常生活において歩行または同等の活動を一日1時間以上していますか。



・日常生活で歩行または同等の活動を一日1時間以上していると答えた方は昨年よりも4%増加し60%を占めた。

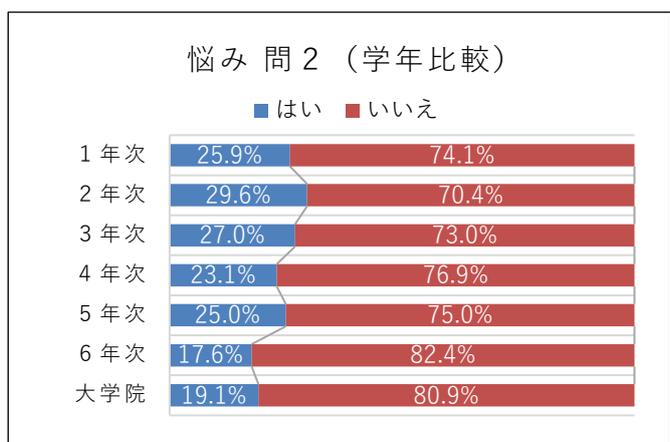
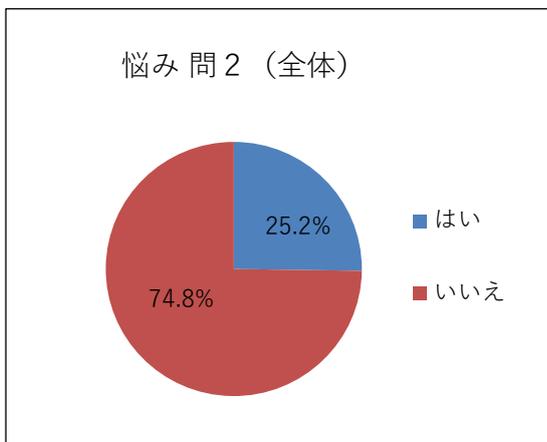
◆悩みについて

問1. 人にはなかなか言えない悩みがありますか。



・悩みがあると答えた方は、昨年よりも4.7%減少し26.9%であった。昨年と大きな変化が見られなかった大学院を除き、いずれの学年でも減少した。

問2. 誰かに話を聞いてもらいたいと思いますか。



・「話を聞いてもらいたい」と答えた方は昨年よりも4.7%減少し25.2%であった。問1と同様に大学院を除き、いずれの学年でも減少した。

(6) 学部新生における麻疹ワクチン接種状況（医学部は除外）

	2回接種/抗体陽性/1回接種(大学入学年)者数(率)	1回接種(中1/高3)者数(率)	1回接種(幼少)者数(率)	接種なし/未提出者数(率)	抗体陽性/大学入学年接種者数(率)(再掲)
2010年	690 (86.5%)	70 (8.8%)	15 (1.9%)	23 (2.9%)	130 (16.3%)
2011年	661 (82.4%)	99 (12.3%)	10 (1.2%)	32 (4.0%)	98 (12.2%)
2012年	662 (82.4%)	105 (13.1%)	7 (0.9%)	29 (3.6%)	106 (13.2%)
2013年	717 (91.3%)	39 (5.0%)	8 (1.0%)	21 (2.7%)	64 (8.2%)
2014年	713 (92.0%)	16 (2.1%)	19 (2.5%)	27 (3.5%)	35 (4.5%)
2015年	690 (89.3%)	9 (1.2%)	44 (5.7%)	30 (3.9%)	37 (4.8%)
2016年	671 (86.2%)	9 (1.2%)	68 (8.7%)	30 (3.9%)	30 (3.9%)
2017年	698 (89.9%)	14 (1.8%)	35 (4.5%)	29 (3.7%)	45 (5.8%)
2018年	736 (90.6%)	15 (1.8%)	39 (4.8%)	22 (2.7%)	34 (4.2%)
2019年	739 (95.0%)	2 (0.2%)	13 (1.7%)	24 (1.7%)	52 (6.7%)
2020年	730 (96.2%)	0 (0.0%)	10 (1.3%)	9 (1.2%)	35 (4.6%)
2021年	746 (95.5%)	0 (0.0%)	12 (1.5%)	19 (2.4%)	17 (2.2%)
2022年	731 (94.4%)	0 (0.0%)	25 (3.2%)	16 (2.1%)	13 (1.7%)
2023年	729 (94.9%)	0 (0.0%)	14 (1.8%)	12 (1.6%)	23 (3.0%)

- (注) 1) 2009-2013年は暫定的麻疹風疹ワクチン第4期接種者（高校3年生対象）が大学へ入学した年度
 2) 2014-2018年は暫定的麻疹風疹ワクチン第3期接種者（中学1年生対象）が大学へ入学した年度
 3) 2019年度入学者から麻疹風疹ワクチン接種が小学校入学前までの2回接種法に変更された
 4) 2回接種者には大学入学年の接種により2回接種となった例も含む
 5) 入学年接種は大学入学年における3月以降の接種
 6) 麻疹抗体陽性は、EIA(enzyme immunoassay)法(IgG)で4.0以上

(まとめ)

- 2回接種/抗体陽性/1回接種(大学入学年)群及び1回接種(中1/高3)群は2023年94.9%であった。この群は麻疹発病予防に有効な群と推測され、2013年、2014年までは90%台で推移し、ほぼ集団感染防御閾値にあった。その後、麻疹風疹ワクチンの暫定的接種の終了に伴い漸減し、2016年は86.2%と低下した。2017年は89.9%と前年に比べ増加となり、以降90%台に回復した。2006年より本邦における麻疹ワクチン接種は小学校入学前までの2回接種法に変更され、この年齢層が2019年度より大学へ入学しており、ほとんどの新生が小学入学前に2回の接種を受けている。中高での接種者はいなかった。
- 抗体陽性/入学年接種群は入学時の麻疹ワクチン接種に関する問診票とワクチン接種推奨に呼応した群とみなされ、暫定的麻疹風疹ワクチン接種の施行に伴い、2010年から2016年までに16%台から3%台までと徐々に減少していたが、2017～2020年は4～6%台で推移した。2021年は2.2%、2022年は1.7%、2023年は3.0%と一定の割合で認められている。2023年新幹線内での複数感染の報告もあり、大学入学時の麻疹に関する問診票と必要例へのワクチン接種の勧奨は今後も継続すべきと考えられる。

2. 職員保健管理実施状況

(1) 職員健康診断対象者及び検査項目

	対 象 者	検 査 項 目
一般定期健康診断	全 員	既往歴及び業務歴の調査 自他覚症状の有無の検査 身長体重計測(BMI・肥満度) 視力、聴力、血圧 尿検査(蛋白、糖、潜血、ウロビリ) 胸部X線撮影(CR撮影)
	35歳及び40歳以上	腹囲測定 貧血検査(RBC、Hb) 肝機能検査(GOT、GPT、 γ -GTP) 血中脂質検査(LDL-CH、HDL-CH、TG) 空腹時血糖、ヘモグロビンA1c クレアチニン、尿酸 心電図検査
	40歳以上	便潜血検査(2日法) ペプシノゲン I 型・II 型 胃部X線検診(バリウム検査)
特殊健康診断	電離放射線業務従事者	問診、血液検査(末梢血)、眼、皮膚
	有機溶剤取扱者	血液検査、尿検査等
	特別化学物質取扱者	血液検査、尿検査等
	粉じん作業従事者	問診・胸部X線撮影(直接)

*平成 22 年度から秋田県総合保健事業団に委託

(2) 職員一般定期健康診断受診状況（手形・保戸野キャンパス）

検査項目	対象者数			受診者数			受診率	有所見者数			有所見率
	男	女	計	男	女	計	(%)	男	女	計	(%)
胸部X線 (全員)	356	241	597	325	225	550	92.1%	2	5	7	1.3%
血圧測定 (全員)	356	241	597	325	231	556	93.1%	136	48	184	33.1%
尿検査 (全員)	356	241	597	326	231	557	93.3%	53	18	71	12.7%
肝機能 (35才,40才以上)	256	146	402	231	145	376	93.5%	101	21	122	32.4%
脂質代謝 (35才,40才以上)	256	146	402	231	145	376	93.5%	157	74	231	61.4%
糖代謝 (35才,40才以上)	256	146	402	231	145	376	93.5%	77	38	115	30.6%
貧血 (35才,40才以上)	256	146	402	231	145	376	93.5%	9	36	45	12.0%
心電図 (35才,40才以上)	256	146	402	231	145	376	93.5%	38	30	68	18.1%
胃部検診ペプシノゲン (40才以上)	243	146	389	218	139	357	91.8%	8	5	13	3.6%
大腸検診 (40才以上)	243	146	389	209	128	337	86.6%	8	3	11	3.3%
胃部X線検診 (40才以上事前申込)	33	6	39	22	7	29	74.4%	2	1	3	10.3%
人間ドック	(35才以上)			94	60	154					

* 対象者数は、退職者・育児休業及び人間ドック受診者を除く

(3) 特殊健康診断

電離放射線業務従事者健康診断

	第1回（6月）				第2回（12月）			
	対象者	省略	受検者	有所見者数	対象者	省略	受検者	有所見者数
職員	45	42	3	0	45	43	2	0
学生	25	18	7	1	23	23	0	0
合計	70	60	10	1	68	66	2	0

*省略；問診で立ち入りがなく、産業医が省略できるとしたもの

有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断

	第1回（6月）			第2回（12月）		
	対象者	受検者	有所見者数	対象者	受検者	有所見者数
職員	28	28	3	28	28	5

*要精検者は、産業医の診察および作業環境調査の上経過観察とした

粉じん作業従事者健康診断

	対象者	省略	受検者	有所見者数
職員	4	4	0	0

3. 保健管理センター利用状況

(1) 学部別・月別利用者数

学部等	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
国際資源学部	男	17	23	37	30	6	2	14	7	7	7	4	4	158
	女	13	7	21	16	1	5	7	5	5	5	3	1	89
	計	30	30	58	46	7	7	21	12	12	12	7	5	247
教育文化学部	男	19	24	18	21	4	5	10	9	6	10	9	3	138
	女	35	51	41	55	39	29	40	27	21	22	23	8	391
	計	54	75	59	76	43	34	50	36	27	32	32	11	529
医学部	男	18	26	26	30	9	3	2	2	5	3	2	7	133
	女	17	26	16	57	30	7	7	6	10	9	11		196
	計	35	52	42	87	39	10	9	8	15	12	13	7	329
理工学部	男	62	97	92	147	33	37	60	54	45	34	42	18	721
	女	15	21	27	40	12	8	14	13	11	17	10	3	191
	計	77	118	119	187	45	45	74	67	56	51	52	21	912
国際資源学 研究科	男	5	8	17	23	7	3	8	9	6	6	8	1	101
	女	4	3	5		4	2	7	2	4	5	2	3	41
	計	9	11	22	23	11	5	15	11	10	11	10	4	142
教育学 研究科	男	7	4	2	2			1	3			2	1	22
	女	3	2	2	6	4	2	3	1	1	1	2		27
	計	10	6	4	8	4	2	4	4	1	1	4	1	49
医学系 研究科	男											2		2
	女		2	1										3
	計	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2		5
理工学 研究科	男	26	27	22	40	29	13	27	14	12	7	6	10	233
	女	7	12	8	9	9	7	6	7	3	10	8	10	96
	計	33	39	30	49	38	20	33	21	15	17	14	20	329
先進ヘルス ケア工学院 修士課程	男			3		3	1	1						8
	女											1		1
	計	0	0	3	0	3	1	1	0	0	0	1	0	9
学生合計	男	154	209	217	293	91	64	123	98	81	67	75	44	1,516
	女	94	124	121	183	99	60	84	61	55	69	60	25	1,035
	合計	248	333	338	476	190	124	207	159	136	136	135	69	2,551
卒業生			1	1	1	3		1		1				8
職員		14	10	17	9	32	30	34	26	15	26	14	13	240
その他					1		1	1						3
総計		262	343	356	487	223	158	242	186	151	163	149	82	2,802

(2) 疾病別利用者数

内科系	件数
感冒	50
頭痛	11
消化器症状(吐気、嘔吐、下痢)	33
腹痛	5
胸部痛	3
動悸、不整脈	4
過呼吸	11
意識消失、立ちくらみ	23
めまい	8
喘息	2
その他健康相談等	111
合計	261

耳鼻科系	件数
咽頭炎	1
扁桃腺炎	1
アレルギー性鼻炎	1
鼻出血	0
中耳炎	1
その他	4
合計	8

皮膚科系	件数
蕁麻疹	2
熱傷	6
できもの	6
湿疹	9
昆虫刺傷	4
アトピー性皮膚炎	1
その他	5
合計	33

外科系	件数
創傷	54
打撲	15
捻挫	13
突き指	2
筋肉痛	5
腰痛	1
肩こり	2
関節痛	8
その他	0
合計	100

眼科系	件数
結膜炎	2
眼周囲できもの	1
充血	1
眼内異物	4
その他	3
合計	11

婦人科系	件数
生理痛	10
その他	0
合計	10

その他	件数
コロナ相談	386
アルコールパッチテスト	56
身体計測機器利用	352
ホール利用	36
休養室利用	31

(3) 健康相談件数

	学生	職員	その他	延べ数(件)
精神科	300	36	3	339
内科	69	135		204
カウンセリング	425			425
看護師	809	69	8	886
合計	1,603	240	11	1,854

(4) 学生相談 相談者内訳

相談者	今年度新規	継続者	延べ回数
本人	90	54	800
教員	2	2	19
事務	1	2	10
両親、家族		1	6
カンファレンス			4
医療機関	1		1
その他	1		1
合計	95	59	841

(5) 学生相談 来談方法

相談方法	今年度新規	継続者	延べ回数
来所	94	54	795
電話		4	41
メール(手紙)	1		4
その他		1	1
合計	95	59	841

(6) 学生相談 相談内容内訳

	進路・修学	就職	心理・性格	対人関係	心身の不調	ハラスメント	研究・論文	問題行動	学生生活	学費・生活費	その他	合計
学部	81	25	31	47	194		1	1	156	2	45	583
大学院	54	8	12	25	102		4	2	38		5	250
合計	135	33	43	72	296	0	5	3	194	2	50	833

進路・修学：不登校や研究室に行けない、不本意入学等、学業に関する相談

心理・性格：自分は発達障害なのではないか、個性、性格、気質等の相談

心身の不調：やる気が起きない、不眠、食欲がないなど心身に影響のある状態の相談

学生生活：一人暮らし、アルバイト等学業問題以外の相談

(7) 健康診断証明書 発行内訳

	就職	進学・受験	奨学金申請	資格取得	実習等	大会出場	アソルバイト他	発行数
国際資源学部	61	0	2	0	2	1	3	69
教育文化学部	83	3	0	0	319	36	8	449
医学部	339	6	6	10	22	0	34	417
理工学部	142	2	2	2	31	10	6	195
国際資源研究科	15	0	1	0	0	0	2	18
教育学研究科	2	0	0	0	0	0	4	6
医学研究科	1	1	0	0	0	0	0	2
理工学研究科	150	0	4	0	0	0	0	154
先進ヘルスケア工学院	9	0	0	0	0	0	0	9
発行数	802	12	15	12	374	47	57	1,319

(8) 紹介状発行内訳

	学生	職員	合計
精神科	2		2
内科	44	6	50
合計	46	6	52

IV 安全衛生活動報告

労働安全衛生法に基づき、センター医師2名は産業医(手形・保戸野キャンパス)、看護師1名は衛生管理者(手形キャンパス)として、職員の安全衛生管理業務を行っている。主な内容については以下の通り。

1. キャンパス内定期巡視及び安全衛生委員会への出席

定期的にキャンパス内巡視を実施し、毎月1回開催される安全衛生委員会へ出席した。

2. 職員定期健康診断事後措置(保健指導)

職員一般健康診断、特殊健康診断等の結果に基づく就業上の措置の判定を行い、産業医が必要と認めた職員に対して、面談による保健指導を行った。

保健指導の内容は、日常生活面での指導、健康管理に関する情報の提供、再検査もしくは精密検査、治療のための受診の勧奨など。

3. 長時間労働者面接

「時間外労働及び休日労働に関する労使協定」により、1ヶ月45時間を超えて時間外労働を命じられた職員について、問診、診察、心電図等の産業医による面接を実施した。

面接対象者は、1ヶ月80時間を超える者は全員、その他はチェックリスト提出により、希望者と産業医が必要と認めた者とした。

4. 高ストレス者面接

「労働安全法に基づくストレスチェック制度」により、高ストレス者として選定され、面接指導を受ける必要があると実施者が認めたものに対して、労働者からの申し出に応じて医師による面接指導を実施した。

5. 病休者の復帰前面談

「病休者と産業医の復帰前面談システム」により、病休者が職場復帰をする前に、産業医が面談を実施した。

V 教育・研究活動報告

1. 学生講義

(1) 教養教育科目

大学生と健康～上手に生きるための基礎知識～ [Web 授業：オンデマンド型]

前期	4月13日 (木)	第1回	飲酒の害について	伏見 雅人
		第2回	高血圧とその関連疾患	佐野 正明
	4月20日 (木)	第3回	脳と心の発達	伏見 雅人
		第4回	がんの予防	佐野 正明
	4月27日 (木)	第5回	睡眠とこころの健康	竹島 正浩
		第6回	エイズと他の感染症	佐野 正明
	5月11日 (木)	第7回	神経症と抑うつ	伏見 雅人
		第8回	海外渡航と感染症	佐野 正明
	5月18日 (木)	第9回	ストレスとうつ病	伏見 雅人
		第10回	生活環境とアレルギー	佐野 正明
	5月25日 (木)	第11回	大学生のメンタルヘルス	伊藤 麻里
		第12回	喫煙の害について	伏見 雅人
	6月1日 (木)	第13回	女性のやせ願望と食行動異常	筒井 幸
		第14回	トラウマとPTSD	伏見 雅人
	6月6日 (火)	第15回	救急・救命	奥山 学
		第16回	試験	伏見 雅人

後期	10月5日 (木)	第1回	飲酒の害について	伏見 雅人
		第2回	高血圧とその関連疾患	佐野 正明
	10月12日 (木)	第3回	脳と心の発達	伏見 雅人
		第4回	がんの予防	佐野 正明
	10月19日 (木)	第5回	睡眠とこころの健康	竹島 正浩
		第6回	エイズと他の感染症	佐野 正明
	10月26日 (木)	第7回	神経症と抑うつ	伏見 雅人
		第8回	海外渡航と感染症	佐野 正明
	11月2日 (木)	第9回	ストレスとうつ病	伏見 雅人
		第10回	生活環境とアレルギー	佐野 正明
	11月9日 (木)	第11回	大学生のメンタルヘルス	伊藤 麻里
		第12回	喫煙の害について	伏見 雅人
	11月16日 (木)	第13回	女性のやせ願望と食行動異常	筒井 幸
		第14回	トラウマとPTSD	伏見 雅人
	11月28日 (火)	第15回	救急・救命	奥山 学
		第16回	試験	伏見 雅人

(2) 医学部講義

R5.4.13	木	公衆衛生・精神保健、地域精神医療	伏見 雅人
R5.5.26	金	びまん性肺疾患（3年次）	佐野 正明
R5.5.26	金	胸膜・縦隔疾患（3年次）	佐野 正明
R5.6.2	金	呼吸器疾患の症候と病態（4年次）	佐野 正明
R5.9.12	火	保健と福祉の制度 精神保健	伏見 雅人

(3) 他大学講義

R5.10.19	木	病態生理学 呼吸器疾患	佐野 正明	秋田栄養短期大学講義
----------	---	----------------	-------	------------

2. 禁煙支援システム(禁煙外来)

【対象】 禁煙を希望する学生及び教職員喫煙者

【方法】 ニコチン依存度(Fagerstrome Test)に基づくニコチン貼付薬漸減療法

【受診状況】 令和5年度受診者 0名

3. 講演会等実施状況

日付	講演テーマ	講師名	会場・派遣先
R5.4.4	令和5年度国立大学法人秋田大学新採用職員研修 「ストレス・コーピング(セルフケア)について」	伏見雅人	秋田大学地方創生センター 2号館大セミナー室 秋田大学
R5.4.5	令和5年度新入生オリエンテーション 「健康管理について」	伏見雅人	あきた芸術劇場ミルハス 秋田大学(入学式終了後)
R5.4.6	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 「特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R5.5.29	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 「特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R5.6.14	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習 「酸素欠乏症、硫化水素中毒及び救急そ生に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R5.7.4	石綿作業主任者技能講習 「健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R5.7.28	SEM 2023 In Northern Tohoku region Opening Remarks	佐野正明	イヤタカ Web開催
R5.8.7	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 「特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R5.8.9	秋田産業保健総合支援センター産業医研修会 「コロナ禍における職場のメンタルヘルスについて」	伏見雅人	秋田県総合保健センター 秋田産業保健総合支援センター
R5.8.21	秋田産業保健総合支援センター産業保健セミナー 「職場のメンタルヘルス ～ コロナ禍におけるストレスケアについて」	伏見雅人	秋田県総合保健センター (Web研修) 秋田産業保健総合支援センター
R5.8.31	自殺予防声かけボランティア養成講座 「うつ病の理解と話の聴き方」	伏見雅人	本荘保健センター 由利本荘市

日付	講演テーマ	講師名	会場・派遣先
R5.9.5	石綿作業主任者技能講習 「健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R5.9.13	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 「特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R5.10.12	秋田産業保健総合支援センター産業保健セミナー 「職場におけるハラスメント防止について」	伏見雅人	秋田県総合保健センター (Web研修) 秋田産業保健総合支援センター
R5.11.7	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習 「酸素欠乏症、硫化水素中毒及び救急そ生に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R5.12.5	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 「特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R6.1.17	石綿作業主任者技能講習 「健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R6.1.23	興和株式会社 社員研修 「認知症の周辺症状と使用薬剤について」	伏見雅人	山王SEビル1階会議室 興和株式会社 仙台支店
R6.2.1	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 「特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R6.2.1	令和5年度 秋田県医師会うつ自殺予防対策研修会・産業医研修会 「働く人のストレスとメンタルヘルス」	伏見雅人	秋田県医師会館 会議室 秋田県医師会
R6.2.7	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習 「酸素欠乏症、硫化水素中毒及び救急そ生に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
R6.3.9	第24回秋田呼吸リハビリテーション懇話会 ベーシックコース研修会 呼吸不全の病態と呼吸管理について	佐野正明	秋田呼吸リハビリテーション 懇話会 WEB開催
R6.3.14	秋田産業保健総合支援センター産業医研修会 「職場のメンタルヘルス ～ 精神疾患の基礎知識」	伏見雅人	秋田県総合保健センター 秋田産業保健総合支援センター

4. 研究報告

第 60 回全国大学保健管理研究集会東北地方研究集会 一般研究発表

「令和 4 年度の本学学生における健康・生活実態調査結果の検討」

秋田大学保健管理センター

○佐野 正明、安保 智秋、藤原 友紀子、荻原 佐智代、伏見 雅人

令和 4 年（2022）の本学学生における健康・生活実態調査を、コロナ禍前後の 2019 年～2021 年の結果を参考に検討した。対象は各年度で在籍している本学学生、方法は健康生活問診表を用いて行った。調査対象人数（回収率）は、2022 年度 5115 名（43.9%）、2021 年度 5144 名（47.3%）、2020 年度 5095 名（58.6%）、2019 年度 5115 名（83.5%）であった。2019 年はコロナ前、2020 年コロナ後の遠隔授業のみの時期、2021 年は対面・遠隔授業の併用の時期、2022 年は対面授業の時期における調査で、調査の項目は①睡眠の状況、②食事摂取の状況、③喫煙の状況、④飲酒の状況、⑤運動の状況、⑥悩みの状況である。

①睡眠については、睡眠時間はコロナ後に増加傾向にあったが、2022 年は 6 時間までが半数になりコロナ前の睡眠時間に戻ってきた。「夜、眠れずに昼夜逆転することがある」割合は、2019 年（20.3%）、2020 年（20.8%）に比べ、2021 年は 25.5%と増加したが、2022 年は 23.7%と低下した。オンライン講義など通学不要の不規則な生活が、対面講義の再開で改善したかと思われる。②食事については、「朝食をきちんと摂っている」割合はコロナ後に若干低下が認められた。「外食やコンビニで買ったものを食べる」割合はコロナ後に低下したが 2022 年（24.7%）と 2019 年（27.4%）に近づいた。行動制限の緩和とコロナ生活の慣れが影響していたかと思われる。③喫煙については、「喫煙する」割合は、3.8%でここ数年変化ないも、「喫煙本数」が、2021 年までは 5 本未満が最多であったが、2022 年は 10 本以上 20 本未満が最も多く本数が増えた。喫煙の開始時期は、2022 年は「大学生になってから」が、92.5%と最も多いのは不変だが、「高校生の頃から」の割合が以前の 2～4%台から 6.3%と増加した。学年別でも、「高校生の頃から」が 3～6 年次で 0%であるが、1 年次 25%、2 年次 11.1%とコロナ禍以降、喫煙開始時期が早まっている。④飲酒については、飲酒の有無の傾向は不変であるが、「泥酔するほど飲むことがある」が以前は 16～18%であったが、2022 年は 21.0%と増加し、酒量が多くなっているようであった。⑤運動については、「歩行または同等の活動を一日 1 時間以上する」割合が、2019 年（62.1%）、2020 年（46.4%）、2021 年（47.4%）とコロナ後で減少したが、2022 年（55.7%）と増加し、運動不足の傾向が解消されてきた。⑥悩みの状況については、「人に言えない悩みのある」割合は 2019 年（13.3%）、2020 年（22.9%）、2021 年（27.0%）、2022 年（31.6%）と年々増加している。「誰かに話を聞いてもらいたい」割合は 2019 年（15.5%）、2020 年（22.7%）、2021 年（25.1%）、2022 年（30.2%）と増加した。2022 年 2～6 年次と前年 1～5 年次の同じ集団間で比較しても「人に言えない悩み」のある割合は増加した。行動制限が解除され、コロナ禍前の生活に徐々に回復しているものの、コロナ禍が引き続き学生のメンタルヘルスに影響していることが推測された。

以上、新型コロナウイルス感染症により変化した学生の生活様式は、健康・生活実態調査において、学生の睡眠、食事、喫煙、飲酒、運動、悩みに影響を及ぼしている傾向が認められた。新型コロナウイルス感染症による、ステイホーム、オンライン授業、運動不足、睡眠の不規則、といった消極的となるような学生生活の変化は、メンタルヘルスに影響を及ぼしている可能性が考えられた。対面授業が再開し、外出や運動時間が増えるなど、コロナ禍前の生活様式に徐々に回復しているものの、コロナ禍が学生のメンタルヘルスには継続して影響していることが示唆される。

VI 新型コロナウイルス感染防止対策について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度に引き続き感染防止対策を継続し、発熱等の体調不良時の対応については、対応フロー図（資料1）を作成し周知した。

➤ センター内の感染防止対策

- ・受付、事務室、相談室、などに飛沫感染防止のためのアクリル板の設置
- ・入り口および館内数カ所にアルコール手指消毒液の設置
- ・非接触型体温計（サーマルカメラ）による入館時の体温測定
- ・スタッフおよび来所者の不織布マスク着用
- ・発熱等体調不良者の対応時にインターホンを活用
- ・毎朝の環境整備時などに次亜塩素酸水(iPOSH)にて消毒

➤ 感染防止についての指導と啓発

- ・不織布マスクの着用、手洗いやうがい、こまめな消毒、換気、密を避けるなど、感染防止対策について、「健康だより」や「a.net」などで啓発した。
- ・学内（教室等）の消毒やその他感染防止対策についての助言を行った。

➤ 体調不良者への助言や指導および健康相談について

- ・体調不良の報告フォームを保健管理センターホームページ上に掲載し、報告のあった体調不良者に対し受診方法や体調管理などについて助言や指導を行った。
- ・体調が回復するまで健康観察を継続させ、回復したことが確認できるまで電話やメールで健康状態を確認し、登校（出勤）可否の判断を行った。
- ・体調全般に関する健康相談や、感染への不安などの相談にも対応した。

➤ 学生のメンタルヘルス対策について

- ・メンタル不調を訴える学生からの相談に随時対応した。
- ・「こころとからだの健康調査」を基に、希望者に対し診察やカウンセリングを実施した。
- ・学内の他の相談窓口や学務担当職員および教員などと連携し、メンタル不調をきたしている学生の診察やカウンセリングを実施した。

新型コロナウイルス感染症の対応について

令和5年5月8日
保健管理センター

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症となりました。これにより、新型コロナウイルス感染症にかかった方は外出自粛を求められることはなくなります。また、濃厚接触者として特定されることもなくなるため「濃厚接触者」が外出自粛を求められることもなくなります。しかし、**新型コロナウイルス感染症が終息したわけではありません。**5類感染症に移行してからは、個人の適切な判断で行動することになりますので、一人ひとりが自分の体調と周囲への影響を考慮しながら、感染対策を続けていくことが大切です。万が一の体調不良に備え、事前に自己検査用の検査キットや解熱剤等も準備しておきましょう。

Q：新型コロナウイルス感染症にかかったらどうしたら良いか？

- ・学校保健安全法の規定により、「発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで」は出席停止となるため、外出を控え療養に努めましょう。
- ・5日目に症状が続いている場合は、解熱剤を使用せずに解熱し、かつ、呼吸器症状が軽快するまで休んで下さい。
- ・10日間が経過するまでは、ウイルス排出の可能性があるため不織布マスクの着用など、周りの人への配慮をお願いします。

Q：家族や友人などの接触者になったらどうしたら良いか？

- ・新型コロナウイルス感染症にかかった方の発症日を0日として、特に5日間は自分の体調に注意してください。外出の制限はありませんが、7日目までは発症する可能性があるため、不織布マスクの着用や手指消毒などの感染対策を続けてください。感染が心配な場合は市販の検査キットで検査することをお勧めします。

Q：発熱（微熱）や喉の痛み、咳などの風邪症状が出ているがどうしたら良いか？

- ・症状が重い場合は近医のクリニック受診をお勧めします。新型コロナウイルス感染症とその他の疾患を区別することは困難なため、普段と異なる症状がある場合には無理して登校せず、自宅で休養してください。発熱後、すぐに解熱したとしても、再び発熱や風邪症状が現れる可能性がありますので、症状が軽快後48時間経過するまでは登校を控えてください。

体調悪化時や相談先に運ったら・・・

秋田県新型コロナウイルス感染症総合案内（コールセンター）

TEL 018-895-9176（8時～17時）（毎日）

TEL 018-866-7050（17時～翌8時）（毎日）

※健康に関する相談は、保健管理センターでも承ります。TEL 018-889-2955

